

平成 23 年度 2次評価（基本施策評価）シート

基本施策名	9	家庭の教育力を高める	評価責任者 (基本施策主管課長)	八幡町市民館長 福島 照光
-------	---	------------	---------------------	------------------

基本施策の現状分析及び意図

基本施策の体系	基本目標	共生・交流
政 策	次世代をともに育成するまちづくり	
①	市民意識調査結果	②左記結果に対する現状分析・市民との協議結果
		<p>市民意識調査によると、本基本施策の満足度は平均より高いものの、必要度は平均を下回っている。</p>
③	基本施策の現状と課題	差別をなくす子どもを育てるために、差別に気づく学習をする必要がある。
④	基本施策の意図、今後の展望	仲間とともに部落差別をはじめとするあらゆる差別を許さない児童を育成するための事業を実施する。

⑥基本施策構成事務事業の評価

担当課	ID	事業名	改善余地の有無	事業費(人件費込、単位:千円)			優先順位
				H22 決算額	H23 予算額	H24 所要額	
1	404	児童館事業経費	無	12,225	12,020	12,020	1
2	405	児童館事業経費	無	9,210	9,221	9,221	1
3	406	児童館事業経費	無	3,036	3,036	3,036	1
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
(以下 続紙)							
事業費 合計				24,471	24,277	24,277	

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な事業

事業名	事業主体	事業内容等

⑧ 基本施策の現状分析に基づく改革案の説明

評価視点	評価コメント
1 基本施策指標の分析	基本施策の児童館の積極的な利用については目標を達成できている。
2 事業構成の適当性(手段として最適か?)	差別を許さない児童を育成することが人権のまちづくりへと繋がる。
3 役割分担の妥当性	同和人権問題を正しく認識するための基礎を培わせることは行政の責務である。
4 総合評価(今後の展開、事業の見直し等)	小学校区内のより多くの地区外児童が、事業に参加する取り組みが必要である。

⑤基本施策指標の検討・設定

現況の課題、意図、今後の展望のキーワード		考えられる基本施策指標候補		優先順位
児童館の積極的な利用		しろなみ児童館の延べ利用児童数		1
児童館の積極的な利用		まえがわ児童館の事業参加率		1
児童館の積極的な利用		老川児童館の事業参加率		1

  

基本施策指標名	単位	過年度実績		評価年度 目標値			ベンチマーク	指標の説明
		H21	H22	H23	H25	H27		
1 しろなみ児童館の延べ利用児童数	目標	人	10000	10000	11000	11000	11000	来館した久米小学校児童の総数
	実績	人	11792	13997				
	達成率	%	117.9	140.0				
2 まえがわ児童館の事業参加率	目標	%	100	100	100	100	100	土曜開館、各種教室、解放保育事業、団体育成事業の参加率
	実績	%	106	98				
	達成率	%	106.0	98.0				
3 老川児童館の事業参加率	目標	%	70	70	73	73	73	延べ参加児童 / 対象児童×事業実施回数
	実績	%	67	69				
	達成率	%	95.7	98.6				
	目標							
	実績							
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!				